



学校だより 神橋

平成30年9月28日
横浜市立神橋小学校
10月号



3年先の稽古

～「長期的な視野」と「今の課題」を見据えて～

校長 末松 隆一郎

朝晩の風も涼から寒へ、何気ない日溜まりに揺れる可憐な秋桜に季節の優しさを感じ、金木犀香る秋麗の頃となりました。

気候の良くなるこの季節、様々なスポーツの話題が国内外で盛りだくさんの頃でもあります。海外からは、大坂なおみ選手の、全米オープンテニスでの、四大大会日本人初優勝という嬉しいニュース、国内では大相撲秋場所にて、横綱白鳳が、41回目の優勝を全勝で飾りました。

3年先の稽古 相撲界には「3年先の稽古」という言葉があるそうです。かつて「昭和の大横綱」といわれた第58代横綱 千代の富士が、インタビューで次のようなことを語っていました。

相撲界には「3年先の稽古」という言葉があるんだ。今日、明日とか1週間くらいやったってすぐには力はつかない。毎日毎日稽古することによって、3年くらい経ってようやく稽古の貯金ができて、本当の相撲の力がでてくる。そういう信念をもってがんばられる子はよくなっていく。



つまり、力士としての体づくり、自分にあった相撲の型や技、怪我に強い体質づくりなどは、1か月や2か月の稽古、特訓などではつくりあげることではできない。だからこそ、2年先、3年先の自分の姿や目標をしっかりとをもって、そこに到達するためには、今何をすべきか、そして、目標に向かってどのように成長していくか、更には、そのための努力をいかに継続して行えるかということに自覚して日々稽古していくことが大切であるとも語っています。同時に、「3年先の稽古」と「今強くなるための稽古」の両方をやらなくてはならないという格言も、相撲界にはあるとのこと。

では、この元横綱・千代の富士の言葉を「教育」の世界に読み替えてみましょう。「教育」においての「3年先の稽古」と「今強くなるための稽古」とは、どのようなものでしょうか。

○3年先の稽古・・・長期的な視野で取り組まなければいけないこと。

- ・生涯にわたる健康な体と豊かな心の育成
- ・グローバル社会を生きる力 未来を切り開き、未来を創る力
- ・持続可能な社会に向けて、自分たちができることを考え、他者と協働し、解決していく力

○今強くなるための稽古・・・今ある課題 学校全体で取り組むべきこと

- ・いじめの早期発見と解決
- ・基礎基本の徹底と学力の向上
- ・体力の向上と自ら健康を増進しようとする態度の育成 等々

暑さ残る中で始まった運動会に向けての取組。各学年の練習はもとより、ふれあい活動充実に向けての活動、金管クラブ、応援団・リレー選手達の早朝練習、高学年各係の活動など、毎年の光景ではありますが、それは、将来の自分たち自身、将来の運動会、そして将来の神橋小にとって、かけがえのない「3年先の稽古」であると思います。

これからも、「長期的な視野」と「今の課題」の両方を大切に、神橋小の子ども達とともに歩んでいきたいと思っています。

◇第2回 校長室給食ミーティング◇

第2回校長室給食ミーティングの日程が決まりました。詳細・申し込みについては、10月中旬にお手紙を配布します。

- 日時・場所 平成30年11月13日(火) 12:00~13:30 校長室
- 献立 牛乳 ごはん こいわしのから揚げ ぶどう豆 けんちん汁
- 費用 290円